



もうすぐ夏！ 暑熱対策は万全ですか？

暑熱は、日射病や熱射病による家畜の死亡原因にもなることはもちろん、家畜の生産性にも大きな影響を及ぼします。

● 畜種（牛・豚・鶏）による暑熱対策

■ 乳用牛および肉用牛

- ・ 牛体の毛刈り、送風ファンの取り付け状態、風の向きを確認してください（細霧装置の利用も効果的です）
- ・ 新鮮な飼料を給与し、食べ残さない程度の量を数回に分けて給与してください（ビタミン、ミネラル、重曹などの飼料添加、夜間の粗飼料給与も効果的です）
- ・ 出来るだけ新鮮な水を与えてください
- ・ 可能であれば畜舎の夜間開放を行ってください
- ・ 畜舎の屋根への散水や石灰乳の塗布も有効です

■ 豚

- ・ 畜舎の風通しを良くし、送風ファンの取り付け状態、風の向きを確認してください
- ・ 遮光ネットなどによる直射日光の遮断、水の頸部滴下やスポット送風を実施してください
- ・ 給水器の点検はもちろん、飼養密度を少なくしてください（豚の移動、出荷は、朝夕の涼しい時間帯に行うようにしましょう）
- ・ 食べ残した飼料は、こまめに取り除き、新鮮かつ高エネルギーで嗜好性の高い飼料を数回に分けて給与しましょう（ビタミン、ミネラル、ニンニク粉末などの飼料添加も効果的です）
- ・ 出来るだけ新鮮な水を与えてください
- ・ 人工授精の利用（雄豚の活力低下による受胎率の低下対策）

■ 鶏

- ・ 鶏舎内および周囲の整理整頓を行い、風通しを良くしてください（遮光ネットなどの利用、ケリングパッドなど冷却装置の目詰まりの除去も重要です）
- ・ 新鮮な水の給与、飼養密度の適正化および鶏糞の定期的な除去など
- ・ 給餌は日中の暑い時間帯を避け、早朝、夕方の涼しい時間帯に行ってください
- ・ 給餌回数を増やし、食べ残しを少なくするとともに高エネルギーで嗜好性の高い飼料を給与しましょう。（ビタミン、ミネラルの飼料添加も効果的です）

ご不明な点は、城南家畜保健衛生所まで